

令和4年度 中部医師会連合 第2回地域包括ケア特別委員会次第

日時：令和4年9月25日（日）
午後1時35分～午後3時35分
場所：名古屋マリオットアソシアホテル
16階「アイリス」

1. 開 会

2. 委員長挨拶

3. 協議事項

(1) 各県医師会で地域包括ケアに関して重点的に取り組んでいる事業等について

(2) 重層的支援体制整備事業における各県の進捗状況および医師会の関わり方について

(3) 介護報酬改定への要望について

(4) 「地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会」の開催について

(5) その他

4. 閉 会

中部医師会連合第2回地域包括ケア特別委員会出席者名簿

令和4年9月25日（日）

（敬称略）

| 県名 | 役職名 | 氏名 |
|-----|---------------------------------|---|
| 静岡県 | 副会長 理事 〃 事務局 〃 | 福地康紀 小野宏志 竹中俊介 望月隆弘 滝浪栄太 |
| 石川県 | 理事 〃 〃 事務局 | 佐原博之 菊地勤 久藤茂 中山嘉寿 |
| 愛知県 | 副会長 理事 〃 事務局 〃 〃 | 加藤雅通 森亮太 松浦誠司 兼松良充 市川睦 大河内香澄 |
| 富山県 | 副会長 理事 〃 事務局 | 炭谷哲二 松岡理 寶田茂 竹野愛梨 |
| 岐阜県 | 副会長 常務理事 〃 〃 事務局 | 鳥澤英紀 平野良尚 山本昌督 佐竹真一 岡田朋子 |
| 福井県 | 副会長 理事 〃 事務局 | 広瀬真紀 伊部晃裕 藤井康広 中山崇嗣 |
| 三重県 | 理事 〃 〃 事務局 〃 | 石田亘宏 小青西博 青木大五 上田圭祐 木本祥仁 |

計 33名

介護報酬改定への要望について

郡市医師会からの回答

- ・介護職員確保に配慮した報酬改定。
- ・介護報酬の算定は、加算の内容が多くなっており、介護従事者が毎回一つ一つを理解し、高齢者に説明することに苦労している。住民にもわかりやすい表現やサービス料金の体系にしてほしい。
- ・訪問介護（ヘルパー）の介護報酬を上げてほしい。
- ・訪問入浴の報酬単価を上げる。訪問入浴は看護師、介護福祉士等の 3 人体制。現在の単価では、人件費はもちろん、利用者宅へ行くまでの燃料費がかかり赤字である。
- ・老人保健施設に言語聴覚士が配置できない場合、PT などが研修を受けるなどの条件を付けて言語聴覚士配置加算を認めてほしい。
- ・在宅での看取りを推進する上で、訪問介護（ヘルパー）と短期入所（ショートステイ）のサービスは必須であると考えているが、サービス導入を断念せざるを得ないことが多くある。次回の介護報酬改定で 2 つのサービスに事業者が参入しやすくなるような内容を要望する。
- ・老人保健施設入居者のコロナ罹患患者の診療に関しての介護報酬の加算を認めてほしい。
- ・老人保健施設での「死亡看取り」した場合は特別養護老人ホームに認められているような算定を認めてほしい。
- ・市内を区域に分けそれぞれに研修会を行い、介護職員同士の顔の見える関係を構築しており、モチベーションの向上に寄与できている。介護現場で他職種連携に IT 機器を用いることで効率アップができ、すでに個々に用いている例も多々あるが、補助がないために、持続的に管理運営することが困難になっている。何らかの補助をお願いしたい。
- ・老人保健施設の施設長の欠員に対して、特別な事情がある（急病・急死など）場合、非常勤医師での対応や常勤医師の就任までの猶予期間（3 カ月程度）を認めてほしい。
- ・市内すべての地域包括支援センターに地区の医師会員が協力医として登録し地域ケア会議への出席、相談、イベントへの協力を行っている。当市の地域包括支援センターは 11 か所すべて民間委託であり、市では地域包括支援センター対し事業を割り当ててるが、各事業の実効性を詳しく検討することなく新規の事業が追加されるため地域包括支援センターは対応しきれず、事業の継続が困

難な状態である。市が直接に地域包括支援センターの現場への支援や指導をする体制が必要であると地域包括支援センターおよびケアマネ事業者から切実な声が寄せられており、当医師会では市直営の基幹型域包括支援センターを設置求める要望書を毎年市長に提出して働きかけている。